

EPSON 会計ソフトウェア R4 シリーズのリリース

エプソン会計システム「インターKXシリーズ」「応援シリーズ」「顧問シリーズ」を全面的にリニューアルしたエプソンの第4世代会計システム「EPSON 会計ソフトウェア R4 シリーズ」を新規リリースします。システムの詳細は、各アプリケーションのインフォメーションに次の内容についてまとめましたので、ご確認ください。追加情報は、順次ご案内いたします。

1. アプリケーションの種類
2. 導入手順
3. 既存システムと R4 シリーズの併用

1. アプリケーションの種類

1-1. インターKX R4シリーズ

InterKX R4	システムの位置付け	バージョン	初版対応年
E i ボード (イーアイボード)	エプソンメニュー／ネットワーク基本パックを統合 ※1	Version 14.10	—
財務会計 R4	InterKX 財務会計後継	Version 14.10	—
電子申告 R4	InterKX 電子申告後継	Version 13.10	平成 25 年度
法人税 R4	InterKX 法人税後継	Version 14.10	平成 26 年度
内訳・概況書 R4	InterKX 内訳書・概況書後継	Version 14.10	—
申請・届出書 R4	InterKX 申請・届出書 (新規)	Version 13.10	平成 25 年分
所得税 R4	InterKX 所得税後継	Version 13.10	平成 25 年分
相続税 R4	InterKX 相続税・財産評価 (新規)	Version 13.10	平成 25 年分
事務所管理 R 4	InterKX 顧問先情報・報酬請求後継	Version 14.10	—
給与・法定調書 R4	InterKX 給与計算・法定調書後継	Version 13.10	平成 25 年分

1-2. 応援R4／顧問R4シリーズ

応援 R4／顧問 R4	システムの位置付け	バージョン	初版対応年
E i ボード (イーアイボード)	ネットワーク基本パック／ランチャー機能 ※1	Version 14.10	—
財務顧問R4 Professional	財務応援Super後継 (会計事務所)	Version 14.10	—
財務顧問 R4 Basic	財務応援Lite中位後継 (会計事務所)		
財務応援 R4 Premium	財務応援Super後継 (企業) 財務応援Ai後継 (企業)		
財務応援 R4 Lite + (プラス)	財務応援Lite中位後継 (企業)		
財務応援 R4 Lite	財務応援Lite後継 (企業)		
財務応援 R4Lite for IKX	InterKX企業支援後継 (企業)		
電子申告顧問 R4	電子申告応援後継	Version 13.10	平成 25 年度 ※2
法人税顧問 R4	法人税顧問後継	Version 14.10	平成 26 年度
内訳・概況書顧問 R4	内訳書・概況書顧問後継	Version 14.10	—
申請・届出書顧問 R4	税務申請書顧問後継	Version 13.10	平成 25 年度
相続税顧問 R4	相続・贈与税顧問／財産評価顧問後継	Version 13.10	平成 25 年分
消費税顧問 R4	消費税顧問後継	Version 14.10	平成 26 年分
事務所管理顧問 R 4	顧問先情報／報酬請求Ex後継	Version 14.10	—
給与・法定調書顧問 R4	給与応援Super後継 (会計事務所)	Version 13.10	平成 25 年分
給与応援 R4 Premium	給与応援Super後継 (企業)		

給与応援 R4 Lite	給与応援Lite後継 (企業)		
法定調書顧問 R4	法定調書顧問後継 (会計事務所)		
所得税顧問 R4	所得税顧問後継	Version 13.10	平成 25 年分

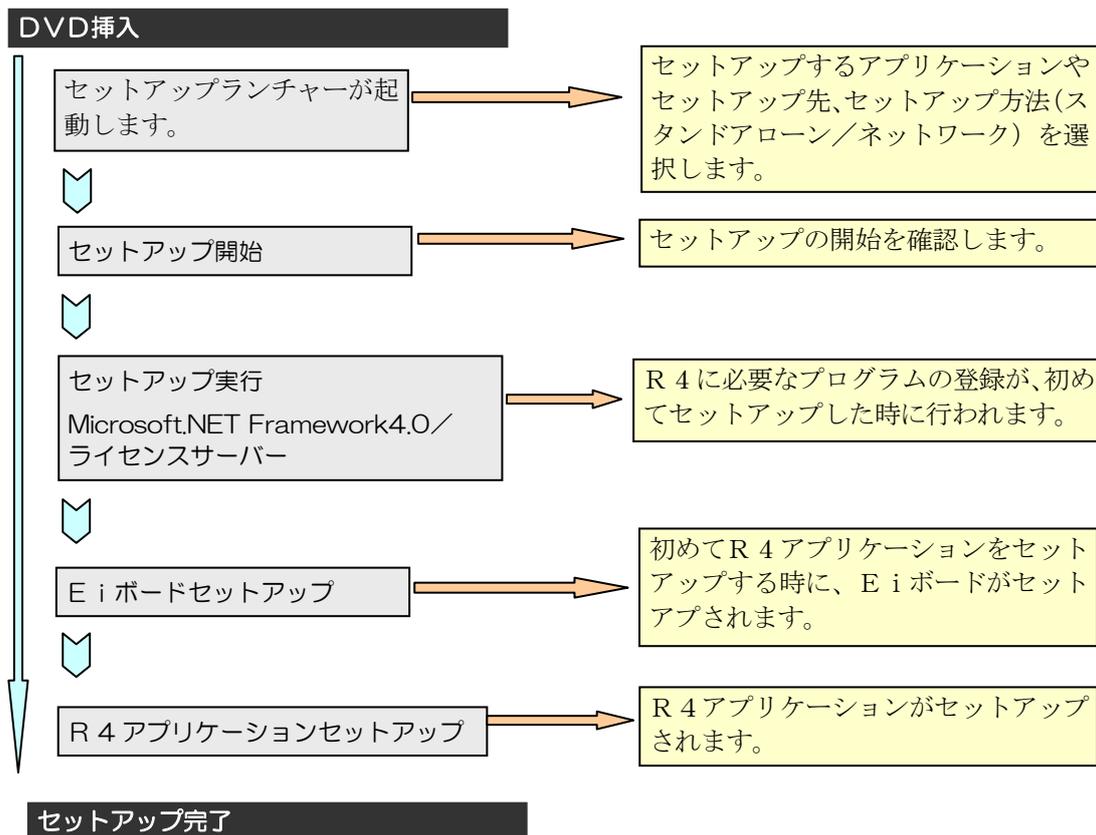
※R4 シリーズのバージョンは、西暦の下 2 桁 (2014 年の場合、Version 14) で表示します。年度改版があるプログラムは、システム名に元号と年を表示します。また、データを選択した状態でバージョン情報を確認すると、サーバー名やデータベース名が表示されます。



2. 導入手順

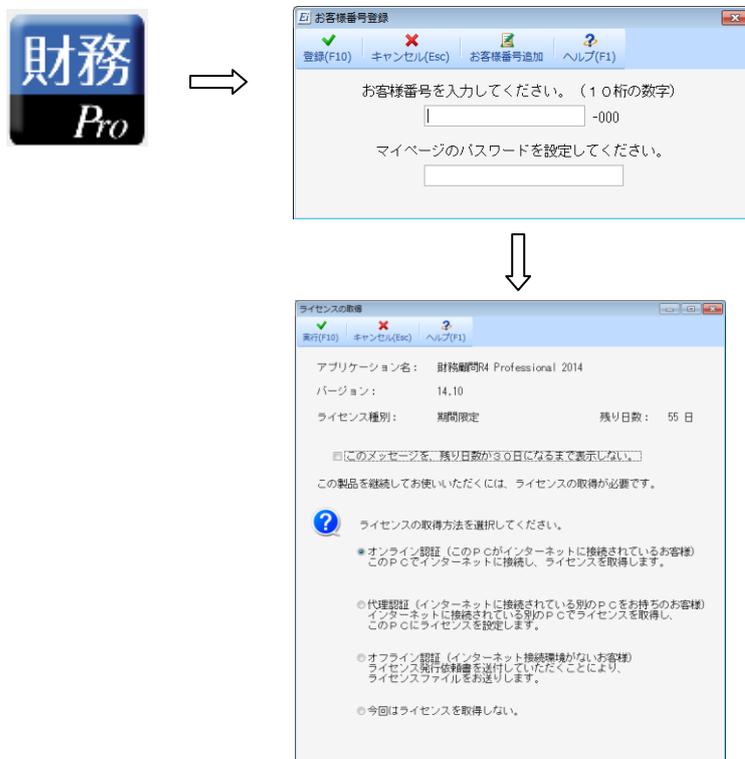
2-1. セットアップの流れ

R4シリーズのセットアップの流れは次のとおりです。手順の詳細は、アップグレード製品に添付される「導入まるわかりガイドブック」をご覧ください。



2-2.ライセンスの取得について

R4シリーズでは、ライセンスの取得方法やライセンスによる起動制限が変更になります。初めてR4アプリケーションを起動すると、お客様番号を設定する画面が表示されます。お客様番号の設定が終わるとライセンス取得の画面が表示されます。



認証の方法は次の3種類です。処理の詳細は、上記画面の【ヘルプ】をご覧ください。

認証の種類	内容
①オンライン認証	セットアップするパソコンをインターネットに接続して取得します。
②代理認証	セットアップするパソコンとは別のパソコンをインターネットに接続して取得します。
③オフライン認証	ライセンス発行依頼書をFAXで送付し、ライセンスファイルを取得します。(ライセンスCD)

※会計マイページのお客様番号と使用するPC（ネットワーク版の場合はサーバーPC）のマシン情報でライセンスが認証され、90日以内に認証されない場合は、R4アプリケーションは起動しなくなります。

※E i ボードからライセンス認証を行う場合は、複数のシステムのライセンスが一度に取得できます。

3. 既存システムとR4シリーズの併用

3-1. 新旧システムのデータ連動、データの互換性について

既存システムとR4システムのデータ連動、データの互換性については、次の資料をACディールーズネット (<https://myoen.edn.epson.jp/dealers/>) で公開いたしましたのでご確認ください。

- ・新旧データ連携資料
- ・他のシステムからの取り込む場合のファイル仕様（CSVファイルの送付、取込仕様）

3-2. 既存システムの法改正対応について

既存システムは、原則として平成28年4月末まで法改正対応いたします。

以上、よろしくお願いたします。